

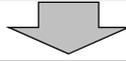
## かわさき教育プラン-重点施策評価シート（平成26年度）その1

重点施策6	共に学び、楽しみ、活動する生涯学習社会を創る	プロジェクト実施体制	
<b>●重点施策の目指す方向（成果）</b> ・学びの成果を活かして地域の教育力を育み、市民主体の生涯学習社会をつくる。		メンバー 生涯学習推進課長、文化財課長、指導課長、教育改革推進担当課長、教育環境整備推進室担当課長	
<b>●実施方法</b> ・市民の主体的な学習活動や市民活動の活性化を図るため、既存施設を学習や活動の場として有効活用し、生涯学習に関する地域の拠点となる施設を整備する。 ・社会教育施設等を活用しながら、地域課題に応じた学習機会の提供等の活動支援により、市民の学習活動や市民活動の活性化を図る。 ・中学校区・行政区地域教育会議の活性化や学校との連携推進などにより、地域の教育力の向上を図る。 ・文化財の保護と活用における市民参加を推進し、文化財を活かした学習機会の提供や観光資源としての活用など、魅力ある地域づくりを進める。			

プロジェクトによる総合評価	
<b>●重点施策の実施結果</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域ぐるみで子どもの教育、学習をサポートし、シニア世代をはじめとする幅広い世代の知識と経験を活かして多世代で学ぶ生涯学習の拠点をつくるため、市内8箇所で地域の寺子屋を開講した。</li> <li>・市民館を拠点として、地域や社会における様々な課題に対応した社会教育事業の展開、子育て支援や地域の文化芸術振興事業などの様々な分野での区役所との連携を推進するなど、行政区全体の生涯学習の推進を図った。</li> <li>・家庭の教育力の向上に向けて、小学校108校、中学校40校、特別支援学校3校のPTAに対し、家庭教育に関する学びを支援するとともに、各区において、家庭教育に関する講座や講習会など計11事業を実施した。また、子育てグループや子育て支援グループと関係機関などのネットワーク化を図るため、子育て広場の開設（計8箇所）や、親子で参加できるイベントなどを実施した。</li> <li>・シニア世代の活力を地域で活かすための支援として、社会参加に向けたシニア世代の学びや仲間づくりを支援するための講座を18事業実施するとともに、学習相談ボランティアとして活動するためのノウハウなど、具体的な活動に結びつく講座を7事業実施した。</li> <li>・地域の教育力向上を図るため、各中学校区地域教育会議が学校と連携して事業を進めるとともに、行政区地域教育会議が区内での連携を図った。また、全市交流会において、地域の寺子屋事業やいじめをテーマに意見交流を行うとともに、各地域教育会議の活動内容について情報交換を図った。</li> <li>・平成26年3月に策定した「川崎市文化財保護活用計画」に基づき、史跡めぐりや発掘調査現地見学会等の地域の文化財を活かした学習の機会の提供などを実施するとともに、文化財保護活用推進委員会を開催し、計画の推進を図った。</li> <li>・全国的にも貴重な歴史文化遺産である橘樹官衙遺跡群について、総括報告書の刊行や指定意見具申等の取組により、平成27年3月に市内初の国史跡として指定された。</li> </ul>	
<b>●総合評価</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後や土曜日に学習支援や体験活動等を行う「地域の寺子屋事業」をモデル実施し、多くの参加者を得ることができた。参加した子どもたちからは、親や先生以外の大人と話すことができた、という声もあり、世代間交流を進めることができたと考えられる。</li> <li>・PTAの支援、子育て広場の開設、市民エンパワーメント事業、社会参加に向けたシニア世代の学びや仲間づくりを支援するための講座などを実施することで、家庭の教育力向上に向けた親の学びの支援や、地域の学びや学習支援を担う人材の育成などを推進し、市民の学習活動や市民活動の活性化を図ることができた。</li> <li>・「川崎市文化財保護活用計画」に基づく文化財の調査、保護、活用の充実を図るとともに、文化財保存活用に関する市民への普及啓発を行うなどにより、市民参加を推進することで、地域の歴史文化を生かした魅力あるまちづくりを推進することができた。</li> </ul>	

## ●課題・問題点

- ・シニア世代をはじめとする幅広い世代の知識と経験を生かして多世代で学ぶ生涯学習の拠点として、地域ぐるみで児童生徒の学習をサポートする「地域の寺子屋事業」の本格実施に向けた取組など、地域で教育を支える仕組みを整え、地域の教育力の向上を図ることが求められている。
- ・各社会教育施設の建物や設備の老朽化が課題となっており、建物の長寿命化など、環境整備を推進していく必要がある。
- ・橘樹官衙遺跡群の国史跡指定を受け、史跡の保存管理、整備を進めるとともに、区や地域等と連携した活用事業を実施していくことが求められている。



## 川崎市教育改革推進会議における意見内容

- ・市民館や地域教育会議などの取組は、地域の教育力の向上を図るうえで重要な役割を担っている。
- ・地域教育会議では、社会状況の変化に伴って生じた教育的課題についての意見交換なども行われており、教育について保護者や住民が学校とともに考えあう場として有効である。



## 課題への対応と今後の方向性

- ・教育文化会館や市民館において、市民の学習や活動の支援などを行うとともに、市民の生涯学習や地域活動の拠点である生涯学習施設について、施設設備の劣化状況に基づく環境整備に取り組む。
- ・地域の寺子屋事業の推進を通じて、地域ぐるみで子どもたちの学習や体験活動をサポートする仕組みづくりを進める。また、地域社会全体の活力向上、地域の教育力の向上につなげられるよう、地域教育会議の活動について支援を行う。
- ・国史跡に指定された橘樹官衙遺跡群について保存管理計画等の検討を行うとともに、文化財を活用した体験教室や文化財ボランティアの育成などを通じて、文化財を活かした魅力あるまちづくりを推進する。

## ●展開する事業の進捗状況（事業目標）

事業名	①地域の寺子屋事業の推進	所管部署	生涯学習推進課
事業の概要	地域ぐるみで子どもの教育、学習をサポートし、シニア世代の知識と経験を活かして多世代で学ぶ生涯学習の拠点をつくるため、地域の寺子屋事業を推進します。（モデル実施全市7ヶ所）		
	これまでの取組と現状	平成26年度事業目標	平成26年度進捗状況
1	地域の寺子屋事業の立ち上げに向けた検討	小学校7校で放課後や土曜日に学習支援や体験活動等を行う「地域の寺子屋事業」をモデル実施	●市内8カ所地域で寺子屋を開講した。
進捗状況を踏まえての次年度の方向性			
●26年度のモデル事業の検証を進めるとともに、さらなる寺子屋の拡充を目指す。			

事業名	②社会教育施設の整備	所管部署	生涯学習推進課・文化財課・市民・こども局
事業の概要	市民館、図書館、青少年教育施設、博物館施設などの各社会教育施設を、あらゆる市民が利用できるよう、施設の長寿命化など環境整備を計画的に進め、市民の学習と活動の場を保障していきます。		
	これまでの取組と現状	平成26年度事業目標	平成26年度進捗状況
1	新中原図書館の整備、開館		
2	富士見地区再編整備実施計画に基づく教育文化会館の再整備に向けた関係局区等との協議	教育文化会館の再整備に向けた関係局区等との協議	●関係局との検討を行った。
3	社会教育施設の長寿命化対策の考え方の整理	かわさき資産マネジメントカルテ（第2期取組期間の実施方針）に基づく社会教育施設長寿命化対策の計画的な推進	●社会教育施設の長寿命化対策事業の実施に向けた庁内調整を行った。
4	日本民家園総合防災設備の整備	日本民家園総合防災設備の整備	●総合防災設備工事の継続実施
5	日本民家園古民家の耐震補強	日本民家園古民家の計画的な耐震診断及び設計工事の実施	●古民家耐震基本設計（山下家）、耐震実施設計（三澤家）、耐震補強工事（鈴木家）
進捗状況を踏まえての次年度の方向性			
●日本民家園古民家耐震補強を推進する。 ●日本民家園開園50周年に向けた検討を行う。			

事業名	③市民館を拠点とした生涯学習の推進	所管部署	生涯学習推進課
事業の概要	行政区レベルで市民の学習や活動を支援する拠点である市民館においては、社会や地域の課題に応じた学習機会の提供、相談事業や場の提供を通じた学習や活動の支援、社会教育に関わる団体やボランティアの育成、市民のネットワークづくりなどを行う中で、地域の各関係機関やグループ・団体との協力関係を強め、行政区全体の生涯学習の充実を図ります。		
	これまでの取組と現状	平成26年度事業目標	平成26年度進捗状況
1	社会状況の変化を捉えた社会教育事業の展開	社会状況の変化を捉えた社会教育事業の展開	●地域や社会における様々な課題に対応した社会教育事業を展開した。
2	区役所関係機関との連携強化	区役所関係機関との連携強化	●子育て支援や地域の文化芸術振興などの事業や、連絡会議などにより、様々な分野で区役所との連携を推進した。
3	学習情報提供・学習相談の充実	学習情報提供・学習相談の充実	●学習相談ボランティアによる学習相談の推進を図るとともに、新たな生涯学習情報システムの構築に向けて生涯学習財団と準備を進めた。
4		地域における生涯学習のコーディネート役となる人材の養成	●寺子屋コーディネーターの養成講座を3ヶ所で開催した。
進捗状況を踏まえての次年度の方向性			
●引き続き各社会教育事業を推進するとともに、地域における生涯学習や、まちづくりの推進の核となる人材を、区と連携して養成する。			

## 重点施策6

事業名	④読書のまち・かわさき関連事業の推進 (重点施策4-⑤)	所管部署	生涯学習推進課・指導課
事業の概要	子どもから大人までが読書に親しめるよう、学校、家庭、地域でのさまざまな読書活動に取り組むことができる読書環境の整備を進めます。学校での朝読書・読み聞かせ等の取組の充実や学校図書館コーディネーター等の活用により学校図書館の活性化を図ります。 市立図書館では、学校図書館や大学図書館等との連携を進めるとともに、さまざまな施設等で再活用図書の利用の市民への提供等を実施します。さらに、学校図書館を活用した地域への図書の貸出事業についても市立図書館と連携し、全市的な視点をもった、地域における読書活動の支援に取り組めます。		
	これまでの取組と現状	平成26年度事業目標	平成26年度進捗状況
1	朝読書・読み聞かせ・ブックトークの実施	朝読書・読み聞かせ・ブックトークの継続実施	●各校の読書活動の啓発を推進し、朝読書・読み聞かせ・ブックトーク等の実施校の拡充を図った。
2	学校図書館コーディネーター各区3名の配置	学校図書館コーディネーター各区3名の配置	●学校図書館コーディネーターを各区3名、計21名配置し、子どもの読書活動の推進や学校図書館の環境整備、図書ボランティア研修会の企画運営を行った。
3		学校図書館の充実に向け、学校図書館コーディネーター及び学校図書館ボランティアのあり方検討	●常に学校図書館に人がいる環境づくりを図るため、学校司書配置について検討を行った。
4	かわさき子ども読書100選の発行	かわさき子ども読書100選などを活用した、さらなる学校図書館の充実	●かわさき子ども読書100選などを学校図書館における本の紹介や授業支援等に活用し、読書活動を推進した。
5	公立図書館と大学図書館等との連携拡大	公立図書館と大学図書館等との連携継続	●利用協定・覚書を取り交わしている、専修大学、明治大学、和光大学、日本映画大学、日本女子大学と、相互利用や資料の相互貸借を行うなど連携を図った。
6	学校図書館を活用した地域への図書貸出事業の推進	学校図書館を活用した地域への図書貸出事業による市民の読書活動支援の継続	●貸出し実施校における事業推進を図るとともに、学校図書館有効活用事業のあり方について検討を進めた。
7	各種イベント等を通じたリユース本の市民への提供	各種イベント等を通じたリユース本の市民への提供	●各館で実施するイベントやリユース本コーナーで配布を行った。
進捗状況を踏まえての次年度の方向性			
●家庭や地域、学校が連携した読書活動の推進をめざし、図書ボランティアの拡充や読み聞かせボランティアの育成、年齢に応じたブックリストの作成を行っていく。			

事業名	⑤図書館機能の充実	所管部署	生涯学習推進課
事業の概要	読書施設としての機能に加えて、地域情報や生活情報などあらゆる分野で市民が必要とする資料や情報の提供・発信を行う総合的な情報センターとしての機能を充実します。レファレンス機能(調査・Eメール相談等)の充実やインターネット上の情報や生涯学習に関するデータベースの活用ができる環境整備、ボランティアの育成などを通じて、市民の生涯学習施設として、子どもから大人まで、全ての市民の学習や活動等を支えています。 また、中央図書館的機能を備えた新中原図書館の整備に合わせた図書館サービスの拡充や蔵書管理等のICT化による利便性の向上を図ります。		
	これまでの取組と現状	平成26年度事業目標	平成26年度進捗状況
1	幅広い資料収集	幅広い資料収集	●市民の要求や社会動向等が的確に反映されるよう、幅広い図書の収集を行った。また、官庁・自治体・議会等関係各所と協力し、発行された資料や情報を収集した。地域資料の調べ方案内や新着案内などをホームページに掲載した。
2	高度なレファレンス機能の充実	高度なレファレンス機能の充実	●研修などを通じ、職員のレファレンス技術の向上を図った。新聞記事や学術関係のデータベースを整備・提供している中で、新たに国立国会図書館デジタル化資料送信サービスを各地区館で使用可能にした。
3	自動貸出機やBDSの設置等図書館のICT化の推進	ICTを活用した効率的、効果的な図書館運営の推進	●ICタグによる図書の一括管理や自動貸出機・BDSなど、ICTの活用により、効果的・効率的な図書館運営を推進した。
進捗状況を踏まえての次年度の方向性			
●中原図書館を中心に、市民の学習や活動等を支える図書館サービスを引き続き推進する。			

## 重点施策6

事業名	⑥家庭の教育力の向上	所管部署	生涯学習推進課
事業の概要	子どもが「生きる力」を育む基礎となる家庭の教育力の向上をめざし、子どもの発達や生活習慣、子どもの権利、親のあり方、地域社会との関わりなどについて学び、子育てにおける悩みや不安を共有・解消する機会を提供するとともに、PTA等による家庭教育に関する学習活動を支援します。		
	これまでの取組と現状	平成26年度事業目標	平成26年度進捗状況
1	家庭の教育力向上に向けた支援事業の実施	家庭の教育力向上に向けた支援事業の実施	●小学校108校、中学校40校、特別支援学校3校のPTAを支援し、家庭教育に関する学びを促進した。
2	より身近な参加しやすい学習機会の充実	より身近な参加しやすい学習機会の充実	●各区において、家庭教育に関する講座、講習会など計11事業を実施した。
3		共働き家庭、より困難を抱えた家庭などへのアプローチのあり方検討	●企業での家庭教育講座開催への働きかけを行うなど、手法等を検討した。
進捗状況を踏まえての次年度の方向性			
●より多くの親が家庭教育の必要性を認識し、学びを深めることができるように、多様な主体と連携した取組を推進する。			

事業名	⑦子育て支援活動のネットワーク化	所管部署	生涯学習推進課
事業の概要	子育てに関わる活動や施策が効果的、有機的に展開され、地域全体で子育て家庭の支援と子どもの育成に関わっていくことができるように、各区のこども支援室等と連携しながら、子育てグループや子育て支援グループと関係機関などのネットワーク化を図ります。		
	これまでの取組と現状	平成26年度事業目標	平成26年度進捗状況
1	就学前の子育て期の市民に向けた学習機会の提供や仲間づくりの支援	就学前の子育て期の市民に向けた学習機会の提供や仲間づくりの支援	●子育て広場の開設(計8箇所)や、親子で参加できるイベントなどを行った。
2	区役所関係機関との連携強化	区役所関係機関との連携強化	●区役所を主体とした子育て支援関連のネットワーク会議へ参画するとともに、連携して子育て支援事業等を実施した。
進捗状況を踏まえての次年度の方向性			
●当該事業のあり方について、他との連携も含め、今後検討していく。			

事業名	⑧市民教育の推進	所管部署	生涯学習推進課
事業の概要	市民がNPOやボランティアとして地域で活動していくための幅広い力を身に付ける市民教育の場の充実等を図るとともに、その一層の推進に向けて、企業、大学、地域で活躍している市民グループ等との連携を深めます。 また、市民館や青少年教育施設等を活用した、青年の社会参加活動の推進を関係局などとも連携しながら進めていきます。		
	これまでの取組と現状	平成26年度事業目標	平成26年度進捗状況
1	ボランティア活動や地域参加の意欲喚起・啓発に向けた事業実施	ボランティア活動や地域参加の意欲喚起・啓発に向けた事業実施	●市民エンパワーメント研修を21事業実施し、子育てに関するボランティアや防災、環境問題などに取り組む人材の養成などを行った。
2	区役所関係機関との連携強化	区役所関係機関との連携強化	●区役所と連携し、職員や市民を対象に市民と行政の協働のあり方や、生涯学習に関する研修を実施した。
進捗状況を踏まえての次年度の方向性			
●引き続き、事業を推進していく。			

## 重点施策6

事業名	⑨シニア世代の活力を地域で活かすための支援	所管部署	生涯学習推進課
事業の概要	定年退職を迎えたシニア世代が自らのキャリアを活かして地域の原動力としていきいきと活躍できるよう、地域デビューに向けた学びを支援します。 また、市民アカデミー修了者などシニア世代の専門的な学習の成果や経験を、地域活動に活かすことをめざした学習事業を進めていきます。		
	これまでの取組と現状	平成26年度事業目標	平成26年度進捗状況
1	社会参加に向けたきっかけづくりとなる事業や、地域活動へ誘導する事業の実施	社会参加に向けたきっかけづくりとなる事業や、地域活動へ誘導する事業の実施	●社会参加に向けたシニア世代の学びや、仲間づくりを支援するための講座を18事業実施した。 ●学習相談ボランティアとして活動するためのノウハウや、戦争と平和を語り継ぐ地域活動のノウハウなど、具体的な活動に結びつく講座を7事業実施した。
2	生涯学習財団による、学校支援ボランティアの養成・派遣	生涯学習財団による、学校支援ボランティアの養成・派遣	●パソコン学習、特別支援教育の支援について引き続き人材養成と学校への派遣を行った。
進捗状況を踏まえての次年度の方向性			
●引き続き、シニア人材による学校支援等の事業推進を支援するとともに、地域の寺子屋事業等において、シニア世代を始めとした地域人材を活用し、地域で子どもの教育をサポートする仕組み作りを進める。			

事業名	⑩市内の高校・専門学校・大学等との連携	所管部署	指導課・生涯学習推進課
事業の概要	市民の知識の向上や就労に向けたキャリアアップを図るため、市立高校における聴講制度や、大学等高等教育機関との連携による地域に向けた講座の実施など、高校・専門学校・大学等との連携によるリカレント教育を推進します。		
	これまでの取組と現状	平成26年度事業目標	平成26年度進捗状況
1	市内の高等教育機関と連携した市民向け生涯学習事業の充実	市内の高等教育機関と連携した市民向け生涯学習事業の充実	●9大学、1専門学校と連携し、市民向けの講座やイベントなどを計84事業実施した。 ●「川崎市内大学・専門学校、生涯学習のつどい」を実施し、大学による生涯学習事業や市と大学との連携等について広く市民へ周知した。
進捗状況を踏まえての次年度の方向性			
●市民の生涯学習の充実に向けて、引き続き連携を進めていく。			

事業名	⑪中学校区・行政区地域教育会議の活性化	所管部署	生涯学習推進課
事業の概要	学校・家庭・地域の連携を推進し、地域の教育力の向上を図る市民の自主的な活動組織である地域教育会議の活性化を支援していきます。 中学校区地域教育会議については、住民・保護者・教職員の合意形成を図りながら、学校の運営や活動を支援するとともに、地域における子育て支援や学校と地域の協働を推進し、行政区地域教育会議は、区全体の生涯学習活動を促進させるための支援やコーディネート、中学校区地域教育会議の支援を通じたネットワーク化を進めるとともに、地域の方々の教育行政への意見反映と行政との協働を推進することなどにより地域の教育力の向上をめざしていきます。		
	これまでの取組と現状	平成26年度事業目標	平成26年度進捗状況
1	中学校区、行政区地域教育会議の連携推進	子ども会議を通じた活動の共有化など、中学校区、行政区地域教育会議の連携推進	●各中学校区地域教育会議が学校と連携して事業を進めるとともに、行政区地域教育会議が区内での連携を図った。
2	全市交流会の実施	全市交流会の実施	●全市交流会において、地域の寺子屋事業や、いじめをテーマに意見交流を行うとともに、各地域教育会議の活動内容について情報交換を図った。
進捗状況を踏まえての次年度の方向性			
●地域の寺子屋事業との連携を進めるとともに、地域の大人が子ども達に関わることの意義について、改めて各地域教育会議で考える場を持てるよう、支援していく。			

## 重点施策6

事業名	⑫文化財の保護・活用	所管部署	文化財課
事業の概要	本市の歴史や文化を学ぶ上で重要な資源である文化財の調査、保護、活用の充実を図るとともに、市民参加を推進し、文化財を活かした地域づくりに関する仕組みを構築します。		
	これまでの取組と現状	平成26年度事業目標	平成26年度進捗状況
1	文化財調査・活用事業の実施	文化財調査・活用事業の実施	●文化財調査・活用事業を円滑に実施した。
2	文化財保護活用計画策定	計画に基づく事業推進・(仮称)文化財認定制度の創設等に向けた検討	●文化財保護活用計画に基づいて事業を推進するとともに、計画推進のため文化財保護活用計画推進委員会を開催した。
進捗状況を踏まえての次年度の方向性			
●文化財保護活用計画推進委員会を定期的に開催し、引き続き文化財保護活用計画の推進を図る。			

事業名	⑬橋樹郡衙跡の保存・整備	所管部署	文化財課
事業の概要	全国的にも貴重な歴史文化遺産である橋樹郡衙を後世まで継承する遺跡として位置づけ、地域と連携した保存・活用を進めるとともに、国史跡の指定に向けた取組を進めます。		
	これまでの取組と現状	平成26年度事業目標	平成26年度進捗状況
1	地域と連携した保存活用の実施	地域と連携した保存活用の実施	●文化財保護活用計画に基づき、地域と連携した保存活用の実施
2	国史跡の指定に向けた調査・検討	国史跡の指定に向けた取組	●橋樹官衙遺跡群として、本市初の国史跡に指定された。
進捗状況を踏まえての次年度の方向性			
●国史跡指定を踏まえ、橋樹官衙遺跡群調査整備委員会を設置し、保存管理計画、史跡整備計画の策定に向けた検討の開始 ●高津区、宮前区、地域等と連携し、史跡めぐり等活用事業の実施			

事業名	⑭地域を主体とした学校施設の有効活用事業の推進 (重点施策2-⑨、5-④)	所管部署	生涯学習推進課・教育環境整備推進室
事業の概要	市民が学び、活動する環境を創るため、校庭、体育館、プール、特別教室等の学校施設を生涯学習、スポーツ、市民活動などの場として有効に活用します。また、地域主体の管理による地域の活動拠点の整備を推進します。		
	これまでの取組と現状	平成26年度事業目標	平成26年度進捗状況
1	土日、夜間などの地域を主体とした学校施設有効活用事業の推進	土日、夜間などの地域を主体とした学校施設有効活用事業の推進	●「学校施設開放運営委員会」による学校施設の有効活用を推進した。
2	学校施設有効活用事業の推進に向けた学校施設の整備	学校施設有効活用事業の推進に向けた活用モデル事業の推進	●小学校1校において、特別教室の開放管理と施設を活用した生涯学習事業の実施をモデル事業として推進した。
3	学校体育館の受益者負担の検討、導入	学校体育館の受益者負担の適正な運用	●体育館使用料徴収に係る手続きの定着に向けて、手引きの作成、周知等を行った。
進捗状況を踏まえての次年度の方向性			
●学校施設の有効活用を推進するとともに、学校施設開放運営委員会による自主的な運営を推進する。			

## かわさき教育プラン-重点施策評価シート（平成26年度）その2

重点施策6	共に学び、楽しみ、活動する生涯学習社会を創る
-------	------------------------

## ●「かわさき教育プラン」に例示されている指標の推移

指標名	市民館における生涯学習活動（社会教育振興事業参加者数）			数値の出典	教文・市民館・分館活動報告書
指標の定義・指標式(単位)	「家庭教育学級」「ボランティア研修」「市民自主事業」など、教育文化会館・市民館で行なわれる社会教育振興事業への参加者数				
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
目標値	12.5万人	12.7万人	12.9万人	12.9万人	
実績値	10.3万人	10.1万人	10.2万人	11.7万人	
指標名	市民館の市民自主学級・自主企画事業の参加者数			数値の出典	教文・市民館・分館活動報告書
指標の定義・指標式(単位)	教育文化会館・市民館で行われる「市民自主学級」「市民自主企画事業」への参加者数				
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
目標値	27,400人	27,600人	27,800人	27,800人	
実績値	22,633人	20,689人	24,572人	23,857人	
指標名	家庭・地域教育学級、PTA家庭教育学級の受講者数			数値の出典	教文・市民館・分館活動報告書
指標の定義・指標式(単位)	家庭・地域教育学級、PTA家庭教育学級を受講した人の数				
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
目標値	16,000人	16,200人	16,400人	18,000人	
実績値	13,629人	17,585人	16,543人	21,700人	
指標名	子どもの1ヶ月の読書量			数値の出典	学習状況調査
指標の定義・指標式(単位)	子どもが1ヶ月間に読む本の平均冊数(マンガ・雑誌をのぞく)				
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
指標名	(小5)				
目標値	5.1冊	5.1冊	5.1冊	5.8冊	
実績値	5.4冊	5.4冊	5.7冊	5.7冊	
指標名	(中2)				
目標値	2.3冊	2.3冊	2.3冊	2.7冊	
実績値	2.4冊	2.5冊	2.6冊	2.5冊	
指標名	市立図書館における図書貸出冊数			数値の出典	川崎の図書館
指標の定義・指標式(単位)	市立図書館における図書、雑誌、視聴覚資料の貸出冊数				
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
目標値	645万冊	650万冊	700万冊	700万冊	
実績値	646万冊	626万冊	666万冊	677万冊	
指標名	シニア関係事業の参加者数			数値の出典	教文・市民館・分館活動報告書
指標の定義・指標式(単位)	教育文化会館・市民館で実施する「シニア社会参加支援事業」等、シニア関係事業への参加者数				
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
目標値	1,400人	1,420人	1,440人	2,000人	
実績値	1,733人	1,901人	1,852人	1,577人	

## 重点施策6

指標名	シニア活動支援事業（生涯学習財団）の講座 実施数		数値の出典	教育委員会調べ
指標の定義 ・指標式(単位)	学校教育支援アドバイザー事業や地域協働講座など、シニア世代の地域活動を支援する事業の実施数			
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
目標値	19講座	21講座	23講座	23講座
実績値	18講座	19講座	19講座	19講座